

(1) 森のようちえんの魅力

- 1) 自然環境における営み: 人類は、**自然と向き合い、自然から学び、自然とともに、歩んできた。**
⇒ 自然との関わり抜きにして、人間の成長や人類の発展はなかった。
適者生存(自然淘汰)と身体や精神(脳)の変化によって生きてきた。
- 2) 自然欠乏と自然欲求: 近代化のなか、科学の発展や身近な自然の減少さらに生活・教育の
合理化の波を受け、**自然から遊離した生き方**を選択してきた20世紀。
⇒ 自然欠乏症候群(他動性や集中力欠如)が指摘され、様々な原因による歪んだ生活のなか
本能的に自然を求める人々が増えてきた(**自然による人間性の回復欲求, 自然回帰**)。
- 3) 既存の保育に対する大胆で冒険心あふれる挑戦(**本物志向, 多様性と適者生存の進化**)
⇒ 保育室における人工的な遊具 vs 野外における自然の素材や生き物
・規格化 ・使用後はゴミ **・手作り ・再生可能(循環性)**
⇒ 安全に保護された環境 vs 一定の野性(危険性)を残した環境
・快適さ ・便利さ **・無限の可能性 ・柔軟な変化**

(2) 各国の森のようちえん: 保育者／教育内容／特徴

杉山浩之作成
(2018.1)

オーストラリア	デンマーク ドイツ	韓国	日本(認証制度) 広島県の場合	スウェーデン発のムッレ教育 (日本)
インタープリター主導 午前午後の5時間 の野外保育	初等教育教諭 (一般と同レベル) デ:60日研修体系 (6~10人に1人)	森指導士 (保育者資格 + 専門課程 210時間:6週間)	幼稚園教諭など (1名以上) 2名以上の必置	リーダー養成講座修了生 ・クノッペン ・クニュータナ ・ムッレ
生態学的説明 生物の尊重 ゴミや人間の 野生生物への 影響	保育要領の保障 (一般と同水準) 園舎の有無不問 (避難施設は必要)	森林教育の活性化法 (環境教育ESD)	幼稚園教育要領等 に準じる内容 屋外の直接的な 自然体験活動	生態系、自然循環、 環境配慮行動の学習
森林保護区の 環境教育実践施 設が一般園を支援 する制度	財政支援(7:3) デ:ゴミ・プロジェクト ト:算数、環境保護な ど要領準拠保育	森のようちえん 一般園の 森クラス 統合保育クラス 一般園でも週1時間以 上の野外保育義務	研修費補助 (人件費補助は未だ) 地域資源(文化財を 含む)の活用	スウェーデンの野外生活推進 協会が始めた(1957) 妖精(ムッレ他)が自然保 護を語る

(3) ヨーロッパの「森のようちえん」(一般園と同様の国・州認可)

- 1) **保育環境(管理)**: スイス:景観保持が厳しい、ドイツ・デンマーク:フォレスターの森林育成管理
避難・室内保育:テント、多様なバウワゲン、移動バス、園舎などさまざま
- 2) **保育内容**: 一定の保育指針(要領)～五領域と**全体(総合)性**
楽器(スイス:音楽教育)、遊び(ドイツ:算数)、自然プロジェクト、動物保護
身体表現、ストーリーテリング、活動の計画書と振り返りの記録、環境教育
- 3) **保育者**: **一般園と同等の資格**(専門性)、デンマーク:研修制度(**専門職水準**)
- 4) **規模**: 15~30人(保育者1人/子ども6~9人、**専門非常勤**、1/2:**研修生、実習生**)
- 5) **財政**: **補助金平均75%(人件費中心**、保育設備)、寄附・保育料(スイス補助なし)
- 6) **運営管理**: **保護者会**(実質上の経営者:デンマーク・私立の場合)

(4) 韓国における「森のようちえん」の制度化

1) 森林教育の活性化に関する法律(2011)

- ① 幼児森体験園の登録基準: 植生の多様性, 森の健全性,
野外体験学習場, 退避施設,
季節ごとのプログラム
幼児森指導士と補助教師

② 幼児森指導士の専門課程(210時間):

森林教育論, 生態学, コミュニケーション, 幼児教育, 幼児森生態教育,
安全教育, 実習(30時間:5日間程度)

ごみプロジェクト(森の中の動物保護)Den・公立



動物に囲まれたクラス（魚クラス，蛇クラス，Den）



保育要領に準じた保育（算数，Ger・私，海外研修生）



朝の会（自然の妖精たちが森の生活を語る，Sw・私）



リズム遊び (Sw)



リズム遊び (Sw)



活動を記録に(Sw)



ソウル市南山公園で活動する森のようちえん

左:新設の避難小屋(保護者もおしゃべりできる) 右:途中で集合して保育者の話を聞く



ソウル市郊外のヨギ市・イチゴ子どもの家・森のようちえん(森クラス)
プロジェクト活動の作品 左:遠くまで見るサッカーの監督(キリン)
右:長い鼻でボールを受け止めるキーパー(ゾウ)



韓国麗水市・ベタニア子どもの家 発達障がい児・統合保育森のようちえん
左: 園舎 右: 活動範囲の森の地図



溪流での遊び(Hiroshima)



食農・調理保育 (Tottori)



(5) 幼稚園教育要領等の法令との関連～森のようちえんの適合性～

1) 「環境による教育」(1989～)

「保育者主導の保育」から「子どもの主体的な活動を見守る」保育への転換

⇒ 最大限に実現可能な「森のようちえん」など自然環境のもとでの保育

2) 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律(2011)

「幼児期から発達に応じて」

3) 幼稚園施設整備指針(2014)「環境負荷の低減や環境との共生を考慮した施設」

4) 幼稚園教育要領(2018)「持続可能な社会の創り手」となる基礎を培う」

⇒ 例えば幼児の環境教育(Education for Sustainability/Sustainable Development)

「自然の中の多様性や循環性に気づき、自然保護の考えと行動を身に付ける」

5) 幼稚園教育要領(2018)「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(次ページ)

⇒ 「森のようちえんは総合的な保育の場である」ことが予想される。

(6) 幼児の姿と保育内容5領域 (森のようちえんの総合性と質の高さ)

健康な心と体		健康(安全に気をつけて行動する)
自立心		人間関係(自分で考え自分で行動する)
協同性		人間関係
道徳性・規範意識の芽生え		人間関係
社会生活との関わり		人間関係
思考力の芽生え		環境
自然との関わり・生命尊重		環境(自然の不思議さ,季節の変化,生命の尊さ)
数量や図形,標識や文字など への関心・感覚		環境
言葉による伝え合い		言葉(いろいろな体験からイメージや言葉を豊かに)
豊かな感性と表現		表現(美しいものや心を動かす出来事)

(7) 森のようちえんの教育効果～ドイツにおける小学校教員アンケートより～

ドイツの小学1年生の調査2001(「森の幼稚園」と「一般幼稚園」出身別比較)

- ・回答者：小学校教員の担任 ・対象児童(森よ出身：230うち男125女105
一般出身：114うち男57女57)
- ・結果：「動機付け・忍耐・集中・規律遵守」, 「社交的行動・争い解決」,
「授業中の協働・独創性・空想力・意見表明」, 「美的センス」,
「認識力・数学・学習進歩・朗読・課題解決」などにおける高得点
- ・少数の低得点：「手先の器用さ・書き方・色形の区別」

出典 ペーター・ヘフナー著(佐藤竺・訳)「ドイツの自然・森の幼稚園」(公人社, 2009)

(8) 森のようちえんの教育効果～日本の「森のようちえん」保護者アンケート～

出典 杉山浩之「森のようちえんにおける子どもへの教育効果」(広島文教教育, 2016)

発達の領域	7割以上で発達が見られた	6割以上で発達が見られた	5割以上で	4割以上で	変わらない(3割以上)
健康	瞬発力 持久力	健康 食欲	生活リズム		生活リズム
人間関係	自己発揮 思いやり	自立	自己抑制 傾聴		トラブルがあること
言葉	自己主張	質問力			
環境	自然への興味, 知識, 観察力				
造形表現	ものづくりへの興味			絵の大胆さ 絵の細かさ	色への興味 絵の細かさ
音楽表現				音の敏感さ	音の敏感さ リズム感
総合力		遊びの深まり	遊びの多様性		

(9) 森のようちえんの魅力(補足)

全国自然体験活動指導者集会2017(全国キャラバン)

自然体験活動フォーラムin江田島「自然体験活動は次世代へ」 2018.1.20～21

「分科会: 自然体験活動×森のようちえん」シンポジウム(今田新・林浩三・松本信吾・杉山浩之)

1) 生きる力を育てる

- ・「自分が持続可能になる」子どもに育つ
- ・「あるがままに生きる」子どもに育つ
- ・「やりたいことがある」子どもに育つ
- ・自己肯定感の高い子どもに育つ
- ・友だちが好きな子どもに育つ
- ・自然が好きな子どもに育つ
- ・つながり, かかわることの楽しさ(関係性)

2) 不便さの中で「本来の力」が引き出される

- ・判断力
- ・対応力
- ・幸せ力

3) 命の尊厳さとの出会い

- ・命を大切にして「命をいただく」生活がある
(かわいそうだがお互いに生きていくという事実がある)

(10, 補1) 森林局(フォレスター)の訪問

1) 森林局の概要

- ・フライブルク市: 43%を森林が占める
 - ・森林を憩いの空間として整備し、環境作りを行う。
 - ・州の営林署の監督の元、主に次の業務を行っている。
- ①森林に関わる財政と森林エンジニアといった職員の管理
 - ②森のようちえんが森林を使用するに際しての契約の締結
 - ③商工関係が森林を使用する場合の許認可
 - ④狩猟免許のライセンス許可
 - ⑤いのししや鹿の狩猟など生態系の管理
 - ⑥環境教育(森の運営・管理で、計画を作成し、州も参加)
- ・体制としては、6人の森林管理官(フォレスター)のもとに90人の作業員がいる。
 - ・森の管理官(フォレスター)の仕事は、行政主導ではなく、市民や保護者が意見を出せば行政が動くという仕組み。

2) 森のようちえんとの関係

- ・フライブルク市: 22の森のようちえん。
- ・森林局と森の使用についての契約が必要。

- ・契約には、州福祉局の運営許可と自然保護に関する許可証が必要。(= 森林局との契約が最後の手続き)
- ・契約内容は、森林面積の利用面積や期間の設定。
- ・自然保護に反する行為(小屋が契約の2倍の面積など)をしたときは契約を解除すること(今のところそのような事態が起こったことはないが、小屋・ワゴンが大きすぎて住民が訴えて、バルコニーを削った例がある程度。)
- ・森のようちえんの基盤整備として、森の中の安全性を確保し、園に対してのアドバイス等を行っているが、いずれも基本的に、園の自主性を尊重する。
- ・森の管理について、通常維持管理は森林局の助言を受けながら森のようちえんが行っているが、大規模な整備は森林局が行う。
- ・森のようちえん内の子どもの怪我の場合は、ようちえん側の責任。
- ・森の年間利用料としては、50ユーロ(約7,000円程度)としている。

(11, 補2) 行政部門の訪問(デンマーク・Grustrop市)

- 1) 財源 **市:利用者負担=7:3程度**
- 2) ペタゴの給与 学校教師、警察などの資格職と比較して若干低い。金額としては、初任給で約2万クローネ/月(36万円/月、ただし税金4割以上)。
- 3) 社会的地位 **離職が非常に少なく**、むしろ憧れの職業と認識されている。
12の国立大学で保育専門家養成(3年半)入学時と進級時にふるい落とされる厳しさ。特徴は**実習期間の長さ**。修士資格者も。
- 4) 指導監査 年に1回、市として園に対して行っている。指導基準については、森のようちえん独自の特徴はなく、他の保育施設と同じように行う。

- ・ 保育内容 **大まかな保育要領**
(日本とほぼ同様)

- ①**全人教育**(知性、技術、自立心など総合的に人間の価値を高める)
- ②「社会」性の育成
- ③「言語」能力の発達
- ④「運動」機能の発達
- ⑤「自然」現象への理解力
- ⑥文化的「表現」の養成

(12, 補3) デンマーク私立保育研究財団でのインタビュー

1) 年間予算 10億円

内訳 会員収入(500園)その他

2) 年間支出

内訳 研修、研究、人件費など

3) 研修

・60日間のプログラム

4) 保育研究

5) 保育園支援事業

・開園の相談支援
・保育者紹介 ・特別支援保育の支援

6) 営利事業

7) デンマークの保育についての認識

- ・人間関係の希薄化が進む社会
- ・出身者の高い評価(小学校)
- ・年齢別指導計画というものはない
- ・共通保育要領 ・ipad ・1歳児保育の完備

8) 森のようちえん関連

- ・設置(開園)条件: ノーマライゼーション
- ・保護者中心の理事会
- ・職員の労働条件など
- ・補助金75% ・移動(私立)型50%

(13. 補4) 行政部門の訪問(フライブルク市)

- 1) 財源 州:市:利用者=6:2:2 (州の認可監督。市の補助要件もある)
- 2) デンマークと同様、保育資格において森のようちえんに特別な資格はない。

研修(任意)で対応している。

- 3) 【森のようちえんの主な運営要件(バーデン=ヴュルテンベルグ州)】

《設備要件》

- ・小屋(屋根と壁があること、コンテナも可) ・暖房設備のオーブンがあること
- ・水が使えること(ポリタンクでも可) ・金づちやスコップやナイフ等の工具、
楽器、紙・ペン等の筆記用具を備えている
- ・木や土が遊びとなるので玩具は持ち込んではいけないこと
- ・調理器具を備えて、スープや料理のできるところがあること

《運営要件》

- ・教育理念(保育指針)が定められていること
- ・森の管理に関して、森林局と連携体制にあること
- ・他の施設(学校など)との連携体制にあること
- ・火災などの災害対応できる体制にあること(緊急避難経路など)

・保育要領

- ①人間としての全体性
(全人教育)
- ②社会性(・協調性)の育成
- ③言語能力(知性)の発達
- ④身体性(運動機能)の発達
- ⑤自然現象への理解力
(知性)
- ⑥文化的表現の養成

・制度上は1歳児から森の幼稚園に入園できるが、実際は3歳児からである。

(14, 補5)フライブルクの視察(1、私立ギンターシュタール幼稚園)

運営に関わること

- 1)フライブルクの南部に位置する
(針葉樹中心の黒い森の南端)
- 2)運営はNPO法人。5園あるが、
フライブルクで最も古い園。
- 3)保護者中心の理事会はない。
- 4)20人の子ども、5人の職員。園長と副
園長が資格者。パート2名、研修生1名。
規則上は、有資格者2名が最低条件。
人数的には3人以上が必要。園長は5年
以上の経験。園長給与は、2500ユーロ(税
金40%)。

保育内容に関わること

- 1)当日は、誕生日の子どもがおり、朝の
会が誕生日会となる。この日は、その子
の考えで、当初、近くの山へ遠足の予定
であったが、園庭にとどまることになった。
- 2)木で囲まれた芝生の園庭が小屋の
前に広がり、面積的にも程よい。
- 3)個人記録を取り、小学校へ送る。
- 4)保育要領にそった保育を展開する

初代型「避難小屋(バウワーゲン)」



(15, 補6)ドイツ・フライブルクの視察(2、私立 同法人ホイベック幼稚園)

運営に関わること

- 1) フライブルクの新興住宅地に隣接する森の中で二つの園が活動する。
- 2) 開設して12年。
- 3) 20人の子ども、5人の職員。うち研修(実習)生3名。**研修生は0.5人計算。**
- 4) 運営費は、1200万円で、80%が人件費。保育料は17000円。

保育内容に関わること

- ・ 子どもが約束違反をしたときは、徹底して言葉で説明し納得させる。保護者に言うのではなく、本人の責任であることを驚くほど長い時間をかけて教育する。(貝殻の持込み)他の子どもたちも真剣に保育者の言葉に耳を傾けていた。

保育者や保護者たちの手で改造されたバウワーゲン



(16, 補7) 環境教育の一例紹介: スウェーデンの事例

ムツレ教育10年の認定こども園(兵庫)におけるムツレ経験者と非経験者の比較調査

<研究結果>

- 1 キノコの森の中での役割の理解度(小2、経験者:76.8%、非:50.8%)
- 2 食物連鎖の概念の理解度(小2、経験者:72.2%、非:43.8%)生活科や環境教育の効果を高める
- 3 自然に関して興味・関心を持ち始めた時期(中2、経験者:就学前44.2%、非:就学前27.8%)
- 4 食物連鎖の概念の理解度(中2、経験者:76.9%、非:51.9%)
- 5 キノコや落ち葉の分解者としての役割の理解度(中2、経験者:55.8%、非:35.2%)
- 6 環境問題に関心がある(中2、経験者:76.5%、非:51.9%)などなど

⇒

<結論>

- ①環境意識や環境リテラシー、地域活動への積極的参加などで、ムツレ教育の効果が認められた。
- ②幼児期におけるムツレ教育の経験が、その後の環境教育に良い教育効果をもたらしている。

清水・田中ほか(2003)「地域における就学前段階からの自然体験型学習の重要性～妖精ムツレ活動の事例を中心にして～」

(引用文献出典:「環境教育」Vol.13-2)

(17, 補8) 先行研究 スウェーデン国立農業大学グリーン博士(1997)による野外保育園(ムツレ教育)と従来型保育園の比較調査

<研究結果>

- 1 病欠数の差、50%以上の差で、野外保育園の子どもの出席率の高さが証明された。
- 2 集中力の差が、野外保育園の子どもの顕著に高い結果が現れた。
- 3 より優れた運動神経を、野外保育園の子どもは持っていた。(木登り、でこぼこの地面)
- 4 遊びが、より創造的で、ゲームの種類も幅広い、ゲームの始まりと終わりは子どもが決める。

野外保育園(「雨の日も晴れの日も」学校、1985～2008、180園、18小学校)の特徴

- ① 屋内設備も備えており、荒れた天気や10℃以下(－10℃?)の場合、最大3時間までは屋内で過ごす。
しかし、1年を通して、80%の時間は屋外で。
- ② 識字学習(自然の中にアルファベットの形を探す)、算数(木の葉やトウモロコシの種で模様を作る)、天体観測による物理、識字、算数の学習、葉っぱの分解の観察、リズム遊び、記憶ゲームなど。

引用文献出典:「スウェーデンの森の学校、雨の日も晴れの日も」(ジュリエット・ロバートソンによる野外保育園・訪問レポート)サステイナブル・アカデミー・ジャパン、2016.

森のムツレ教育

発達段階に応じたプログラム



SKOGSKNOPP

1.2才

自然と親しむ

クノッペン



SKOGSKNYTTE

3.4才

自然を体感し、観察することを学ぶ

クニュータナ



SKOGSMULLE

5.6才

自然を理解することを学ぶ

ムツレ



STRÖVARE

小学校低学年

人間が自然に与える影響を学ぶ

ストローバレ



FRILUFSARE

行動する

小学校高学年

自然保護に対する意見を持

フリールフサレ

ムッシ教室の教育方法

子どもの概念を広める

子どもは、全感覚で体験したことを総合して概念を築く
更に、自然物を集め比較し分類することで概念が広がる

概念を広げるための階段

グループに分類する、種別する

システムを発見する(動物と植物、人間と自然の共生)

話し合い評価する(考える、想像する、劇化する)

変化を観察する(調べる、操作する、実験する、自分の体で測る)

集め比べ分類する(大きさ、色、かたち)

全感覚で体験する(触れる、見る、聞く、臭う、味をみる)

階段の全ての ステップが 必要です。





—自然の大きな循環の中で

植物

生命の色は葉緑素の緑と同じ緑色です。緑の葉緑素のおかげで植物は、太陽のエネルギーを吸収して自然の大きな循環を開始することができます。

動物と人間

植物を食べる動物がいます。そして植物を食べる動物を食べる動物もいます。人間も、他の動物と同じように、食べて、寝て、子どもをつくらせて死んでいきます。人間も動物の一種でエコシステムの一部なのです。

分解者

分解者のおかげで森の中で死んだ動物の姿をめったに見ません。秋になり落ち葉がたまって背の高さになる中を歩くことはありません。分解者が自然の中で死んだもの、枯れたものを新しい栄養にしてくれます。分解者がいなければ自然の循環が止まってしまいます。

循環は目に見えるの？

循環は目には見えません。でもうまく機能しなかった時に何かおかしいと気がつきます。植物は栄養不足になると枯れます。動物は食べ物がなくなると移動してしまいます。分解者は土が酸性化しすぎると働かなくなります。

循環は感じられるもの？

実際には循環を感じることはできません。しかし、循環の変化は感じれます。四季が変わる、風が強くなる、雨が少なくなるなどです。

循環は聞こえるの？

私たちの聴力がもっと良かったら分解者が土の中でどのように働いているかが聞こえ、春になると木の中を流れる水が聞こえるでしょう。時々、植物が成長する音が聞こえると言いますが、それは何かがとても速く成長するときに使われる慣用句です。でも動物の呼び合う声や動物が狩りをするときの声を聞くことができます。小鳥が巣を作る音とお腹をすかせたヒナ鳥の鳴き声を聞くことができます。

循環が見えるように布の上にものを集めましょう

薄い色の布に水性のペンで環を書きます。それから子どもたちに自然の中から循環の色々な部分に当てはまる物を集めてくるように言います。例えば、循環の植物の場所には葉っぱ、動物の食べ残したものとや跡が分かる物を動物の場所に、ミミズを分解者の場所というように置かせます。見つけたものをピンの中へ入れて循環の図の正しい場所に置くようにしましょう。

植物



光合成が全ての食物連鎖と自然の循環をスタートさせます。太陽が植物の細胞の中で始める作用を光合成と呼び、光合成によって植物が世界の最大の糖分生産工場になるのです。

光合成には何が必要なの？

太陽＝エネルギー

葉緑素＝緑の葉

空気＝二酸化炭素

水 土の栄養もいっしょに

光合成から何ができるの？

空気へ酸素を

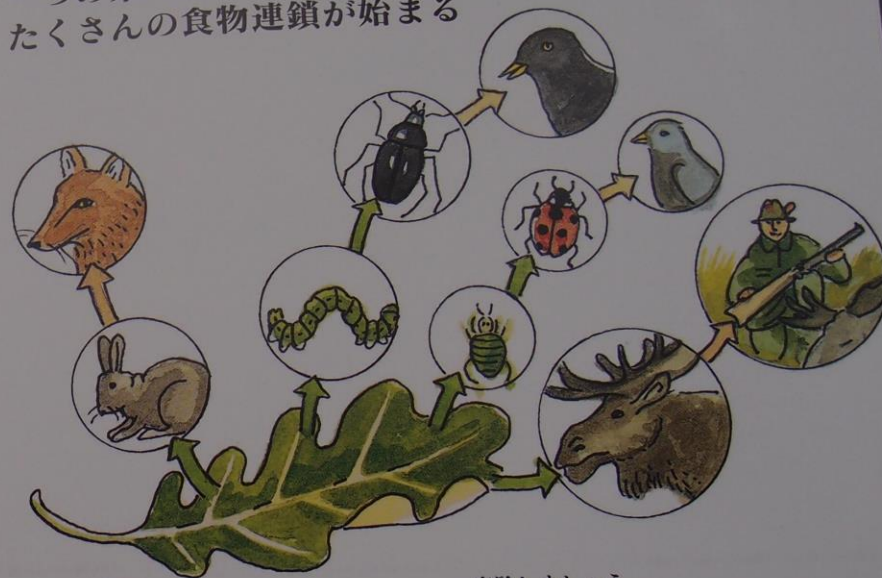
植物へ糖分を

空気へ水を

植物はだれに必要なの？

植物は世界一の糖分生産工場です。植物は太陽のエネルギーを吸収できるので、全ての食物連鎖はここから始まります。動物は植物を食べます。または植物を食べる植物を食べる動物もいます。人間は動物も植物も食べます。光合成によって植物は大気へ酸素を提供します。植物がなければ私たちは生きられません。

一つの葉っぱから
たくさんの食物連鎖が始まる



実験しましょう

どの小枝が最も水を多く飲むだろう

三つのガラスのビンに同じだけの量の水を入れます。新しい小枝を一つ目に、少し葉っぱが付いている小枝を二つ目に、たくさんの葉っぱが付いている小枝を三つ目のビンの中に入れて何日か待ちましょう。どの小枝が最も水を多く飲んでいきますか？なぜでしょう？

豆を育てる

豆を水につけましょう。ビンに入れて芽を出させましょう。たくさんのビンを使って、それぞれ気温と明るさが違う場所に置きましょう。それぞれの育ち方を比べましょう。

太陽の明かりがささない草

石か、あるいは、ぶ厚い板を草の上に置きます。太陽に当たらない草はどうなりますか？なぜでしょう？

水が回る

コップの水にお菓子の着色剤を入れます。その中に白い花を数本入れましょう。花はどのように変わるのでしょうか？

植物になにが必要なの？
どうやって見えるの？

太陽が当たらない植物、水が得られない植物、空気が得られない植物は枯れて死にます。土に栄養がないと植物は育ちません。

植物で遊ぶ

葉っぱの王冠

葉っぱの飾り

ほうき

押し花

食べられる野草、山菜

春の七草

茶

コケモモのジャム

ブルーベリーパイ

キノコ料理